

平成22年度 岡山大学公開講座募集要項

1. 名 称 文学部公開講座
グローバル時代と国家・国民のゆくえ
2. 講座の概要 前年度の「国家・社会と文学(者)」に引き続き、今回は国家と「国民性」を考えます。具体的には、文学作品、ことわざ、演説などの言語文化、あるいは言語そのもの、美術、食べ物・食習慣などの文化を考察して、相対的に「国民性」あるいは、たとえば「日本(人)らしさ」というものが考えられるとすれば、それはどんなものか、あるいはいかに誤解されているかなどについて考えてみたいと思います。また、グローバル化が進み、さらにグローバル(グローバルかつローカル)な時代となりつつある現在や未来には、「国民性」はどうなるのかという視点も盛り込みながら言及します。日本という国や日本人の将来、ありようについて考える参考になればと思います。
3. 期 日 平成22年 6月13日(日)～ 7月18日(日) 13時30分～16時00分
(但し、6月20日のみ13時30分～16時30分)
4. 会 場 岡山大学文化科学系総合研究棟 共同研究室(2階) (裏面参照)
5. 受講定員 100名 (受講資格は特にありませんが、先着順に受付を行い定員になり次第締め切ります)
6. 受講料 無料
7. 修了証書 講義6回のうち4回以上受講された方には、修了証書を授与します。
8. 受講申込
- ① 受付期間 平成22年 5月12日(水)～ 6月9日(水)
※郵送、Webによる申込み(岡山大学のホームページからも申込みできます)又は持参によりお申込ください。(電話による受付は行っていません)
岡山大学公開講座案内ホームページ: <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/cooperation/koukaikouza.html>
なお、持参される場合は、土・日曜日・祝日を除く平日の9時～17時の間にお越しください。
- ② 申込先 岡山大学文化科学研究科等庶務係 (裏面参照)
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 (Tel. 086-251-7345)
- ③ 提出書類等 ア. 受講申込書(Web申込みの場合は、不要です)
イ. 受講料(現金書留又は郵便普通為替としてください。また、Web申込みをおこなう場合は、当日持参してください。)
※受講時までには受講料の納入がなされない場合は、申込みを取り消させていただきます。
ウ. 返信用封筒(80円切手を貼り、住所・氏名を明記したもの。Web申込み若しくは、持参される場合は不要です。)
9. 開講式 6月13日(日)13時20分から開講式を行いますので、初回は少し早めに会場にお集まり願います。
10. 閉講式 7月18日(日)16時00分から閉講式を行います。
11. 講義日程・講師等 (講師及び講義題目等は都合により変更することもあります)

No.	月 日	講 義 題 目	講 師
1	6月13日	題目：自由・平等のワンダーランド、そして自己責任と人種のトラウマランド、アメリカ 概要：建国のいきさつ、高邁な理想と現実、ベンジャミン・フランクリンを典型とする実利主義、そして現在のオバマ大統領の演説をとらえて、アメリカについて考察します。	教授 中谷ひとみ
2	6月20日	題目：①インスタレーションとしての襖絵―「花のように生きる」人々― ②「イギリス人の国民性に関する覚え書き」からみたイギリス人の国民性 概要：①日本絵画を愛し、日本をある種の理想郷として見ていたゴッホの「花の中に花のように生きる」日本人のイメージはよく知られている。だがこの言葉は、じつは単なる幻想化だけではない、日本固有の自然観、造形観に立脚したその造形美術の特質をきわめて的確に表現するものでもある。襖絵とは何なのか、現代美術に通じるその面白さについて画像を豊富に紹介しつつ考えてみたい。 ②イギリス人作家E・M・フォースターは、エッセイ「イギリス人の国民性に関する覚え書き」(1926)で「はじめからはっきり言うてしまおうなら、私の見るところ、イギリス人の国民性は本質的に中産階級的である。これにはもっともな歴史的な理由がある。」と述べ、「この覚え書きの要点は、イギリス人の国民性は不完全だという点にある。どの国の国民性にも完全なものはない。」とまとめている。エッセイで紹介されている「中産階級的の分別」や「感じることを恐れること」を手がかりに、イギリス文学作品や風刺画に描かれた人物の言動や文化からイギリス人について考察する。	①准教授 須賀みほ ②教授 剣持淑
3	6月27日	題目：歴史からみたロシア人の国民性 概要：ロシア人は歴史上、しばしばヨーロッパと自らを比較しながら自己認識をおこなってきた。ヨーロッパ文化に対する憧憬、融合、反発といった対応は近現代の日本にも通じるところがある。このように歴史的に形成されたロシア人の国民性について、内と外の意識、中間層を欠く社会構造、権力に対する服従と反発といった視点から考察する。	准教授 吉田 浩
4	7月4日	題目：中国古典文学からみる中国人の国民性 概要：お隣の国・中国は、日本が古くから文化的に大きな影響を受けてきたなじみ深い国ですが、一方で、中国に関するニュースを見たり、実際に中国人と接したりした時に、考え方の違いなどに驚くことも多いのではないのでしょうか。この講義では、古小説を中心とした中国の古典文学を材料にして、その中に垣間見られる中国人の国民性の一端について考察してみたいと思います。	准教授 橘 英 範
5	7月11日	題目：ドイツ人の国民性―先入観と実際― 概要：話を2部に分けて行おうと思います。前半部では、私のドイツ滞在中の経験をベースとして、思い描いていたドイツ人らしさと実際に知り合ったドイツ人の素顔を比較しながらお話しします。後半部では(約200年遡り)、ドイツ古典主義文学の担い手であったゲーテとシラーの思想と作風を比較しながら、どちらがよりドイツ人らしいか、に焦点を当ててお話しします。	准教授 大杉 洋
6	7月18日	題目：《日本語の表現》と《日本(人)らしさ》 概要：日本語の歴史に於いて、観察されるところの言語事実及びその変遷を踏まえながら、日本語の性格を考えることにする。具体的には、〈尊敬表現〉・〈謙譲表現〉・〈丁寧表現〉といった待遇表現に関わる言語事象を切り口に、「日本人のこぼし」について、その特質の一端を垣間見ることとする。	准教授 京 健 治

----- 切 ----- 取 ----- 線 -----

(文学部)

受講申込書	氏 名	年 令	性別	職 業	現 住 所	※受付番号
	(フリガナ)		男・女		〒	
		歳代			電話： Email：	(平成 . .)

受講希望日に○をつけてください。

1. 6月13日	中谷	3. 6月27日	吉田	5. 7月11日	大杉
2. 6月20日	須賀・剣持	4. 7月4日	橘	6. 7月28日	京

※印欄は記入しないでください。

計 回 受 講

ご記入いただきました個人情報につきましては、本講座の受講管理の他、本学より公開講座にかかわる開催情報などをご案内・ご連絡する際に使用させていただきます。ご案内を希望されない場合は、お申し出ください。(案内等を希望しない口)

平成22年度

岡山大学文学部公開講座

ー グローカル時代と国家・国民のゆくえー

日時 6月13日(日)～7月18日(日) 13:30～16:00

場所 文化科学系総合研究棟 共同研究室 (2階)

募集人数 100名 (先着順)

受講料 無料

前年度の「国家・社会と文学(者)」に引き続き、今回は国家と「国民性」を考えます。具体的には、文学作品、ことわざ、演説などの言語文化、あるいは言語そのもの、美術、食べ物・食習慣などの文化を考察して、相対的に「国民性」あるいは、たとえば「日本(人)らしさ」というものが考えられるとすれば、それはどんなものか、あるいはいかに誤解されているかなどについて考えてみたいと思います。また、グローバリゼーションが進み、さらにグローバル(グローバルかつローカル)な時代となりつつある現在や未来には、「国民性」はどうなるのかという視点も盛り込みながら言及します。日本という国や日本人の将来、ありようについて考える参考になればと思います。

①	6月13日	自由・平等のワンダーランド,そして自己責任と人種のトラウマランド,アメリカ	教授	中谷ひとみ
②	6月20日	①インスタレーションとしての襖絵―「花のように生きる」人々― ②「イギリス人の国民性に関する覚え書き」からみたイギリス人の国民性	准教授	須賀みほ
			教授	劔持 淑
③	6月27日	歴史からみたロシア人の国民性	准教授	吉田 浩
④	7月 4日	中国古典文学からみる中国人の国民性	准教授	橘 英 範
⑤	7月11日	ドイツ人の国民性――先入観と実際――	准教授	大杉 洋
⑥	7月18日	《日本語の表現》と《日本(人)らしさ》	准教授	京 健 治

問合せ先 岡山大学社会文化科学研究科等庶務係 TEL086-251-7345

主催 岡山大学